MAY 10, 1998

SENDAI, JAPAN

北新報　平成10年(1998年)5月10日(日曜日)　社会　15版　(26)

日時計設置で世界結ぼう

米の彫刻家ポンドさん

緑多い仙台で作品制作へ

世界各国で日時計の彫刻を作り続けている米国の女性彫刻家ケイト・ポンドさん(五九)が、仙台市で制作活動に取り組んでいる。二〇〇〇年(平成十二年)までに世界五カ国に制作した日時計を設置する計画を持っており、日本の設置場所に緑が多い仙台市を選んだ。ポンドさんの彫刻の全体のテーマは「太陽を全人類で分かち合おう」。六月に完成する予定で、「国境を超え自然環境を愛するシンボルにしたい」と言っている。

ポンドさんは平成五年、世界の子供たちに地球の尊さを伝えようと「世界日時計彫刻プロジェクト」を始めた。これまで、カナダ・ケベック州とノルウェー・オスロにある博物館に日時計の彫刻を設置した。

「ぜひ日本で日時計を作りたい」というポンドさんを、国際交流基金(本部東京)が招待、二月に来日した。東北大学に留学している息子さんから、仙台市が緑が多く環境に恵まれていることなどを聞き、作品を置くことを決めた。

日時計は、仙台市泉区明通の泉パークタウンスポーツガーデン内の芝生広場に設置される予定で、広場付近で制作を開始している。作品のタイトルは「HIMEGURI―日巡り」。

宮城県南産の伊達冠(だてかんむり)石を材料にした高さ二十―三十㌢、長さ約十㍍の石垣と、厚さ二・五㌢、高さ二・五㍍の三角形の鉄板で構成する。文字盤の役割をする石垣の上に陽光に照らされた鉄板の影が当たり、時を知らせるという。

六月十一日には、日時計のわきにタイムカプセルを埋め込むセレモニーを行う。カプセルには、地元の幼稚園児らが自然をテーマに作ったメッセージカードのほか、ポンドさんが米国やカナダの子供たちから集めた絵はがきや陶器などを入れる。カプセルは二〇一五年(平成二十七年)の夏至に開封する計画だ。

ポンドさんは仙台市で制作を終えた後、オーストラリアとハワイで日時計プロジェクトを進めるという。

「日時計は、太陽を回る地球を体感できる。わたしの作品を通じて、多くの人が地球の大自然を大切にする気持ちを胸に刻んでほしい」と願っている。

幼稚園児と一緒にタイムカプセルに入れるメッセージカードを作るケイト・ポンドさん＝仙台市泉区の高森明泉幼稚園

河北新報

河北新報社

仙台市青葉区五橋1-2-28
(郵便番号　980-8660)

「東」は、未来

電話 (022) 211
読者相談室 1447
報道部1127 販売部1304
スポーツ1130 広告外務部1318
特報部1146 広告内務部1312
学芸部1132 事業部1332
総合案内 (022) 211-1111

© 河北新報社 1998